

地域生態系に配慮できる緑化技術

生物多様性国家戦略2023-2030に

公共工事で外国産在来緑化植物の利用は行わない

ことが示されました。(農林水産省・環境省・国土交通省)

一般に在来種として使用されている**99%**は「**外国産在来種**」です。

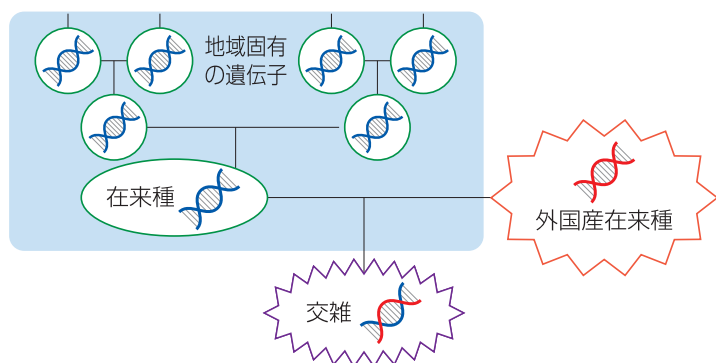
※外国産在来種：日本の在来種と同種だが、国外で採取・生産された緑化植物のこと

東興ジオテックでは

国内産の在来種による**自然回復緑化技術**を提供します。

外国産在来種を使用した場合の2つのリスク

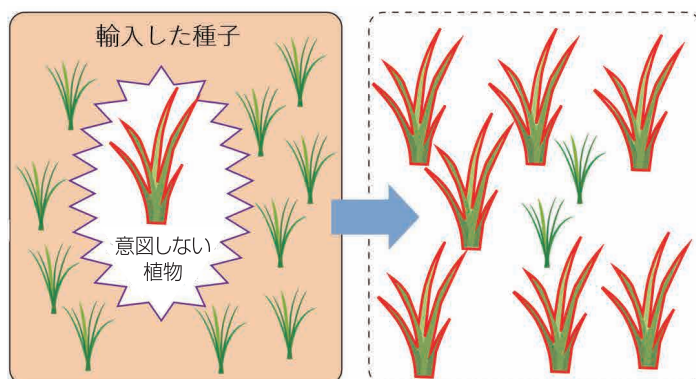
①国内の遺伝的地域性の喪失



※外国産在来種の種名は国内の在来種と同じだが、遺伝子情報が異なる。

例)ヨモギ、メドハギ、ススキ、コマツナギ 等

②意図しない外来種の混入・拡大による生態系の攪乱



※輸入した種子の中には、意図しない(生態系を攪乱する恐れのある)植物が混入していることがある。

例)輸入したススキの中に、外来種のヨシススキが混入している 等

RSセンター(国内産在来種子の専用貯蔵・製品化施設)

国内産在来種子の安定供給のための専用施設と独自技術を保有しています。



種子専用貯蔵施設

種ごとに適切な条件で貯蔵し、在来種子の中長期貯蔵が可能です。



早期発芽力検定法

国内産在来種子の品質検査、採取・貯蔵に関する技術開発を行っています。



種子自動計量袋詰装置

種子配合設計に基づいて正確に計量・袋詰した製品を現場に出荷します。

阪神淡路大震災で崩落した六甲山系グリーンベルトにおける自然回復緑化

ハイグリーンショット工法(斜面樹林化工法)



2014年12月(施工前)



2018年10月(施工1年6ヵ月後)



2021年11月(施工4年6ヵ月後)

工業団地造成工事における修景緑化

斜面樹林化工法



1996年9月(施工7ヵ月後)



1998年5月(施工2年4ヵ月後)



2023年12月(施工27年10ヵ月後)

道路拡幅工事によって発生した国立公園内の切土法面における急速緑化

原風景緑化工法



2019年4月(施工直後)



2019年6月(施工2ヵ月後)



2020年9月(施工1年5ヵ月後)

当社のオリジナル緑化工法は

外国産在来種を使用しない法面緑化として施工できます。

斜面樹林化工法 原風景緑化工法 ノンラスグリーン工法 エコストラップ工法

ハイグリーンショット工法 リサイクルアースグリーン工法

